

統計データ等による地域課題の把握と産官学等連携による働き方・職場環境改善の推進

地域の課題 久慈市では、移住・定住促進、子育て支援、若者の雇用定着推進などに取り組んできたが、現状、毎年人口の1%程度の転出超過となっている。アンケート調査によると、地元に残らない・戻ってこない要因として「地元にはやりたい仕事がない」が上位の理由であり、賃金や労働条件が悪いことを理由とする意見も多い状況である。

目指す姿 産官学等の連携による「若者・女性にも選ばれる地方」への取り組みにより、地域の働き方・職場改革が進み「えるぼし」「くるみん」「ユースエール」などの認定を受ける魅力ある市内企業を増加させ、若者・女性を中心とした転入増・転出減を実現させる。



主な取組内容

・市内事業者向けのアンケートを実施し、働き方・職場改革等の状況をデータ化し、国等の統計データと比較・分析することで、地域課題を把握するとともに、働き方・職場改革の進捗度を見える化し、取り組むべき施策の方向性を明確化する。

・岩手県と久慈広域市町村が連携し、人口減少問題等に関する勉強会を開催し、情報共有や広域連携事業を検討する。

・岩手労働局や久慈職業安定所、久慈商工会議所と連携し、市民・市内事業者向けに人材確保、仕事と育児との両立などの働き方・職場改革、アンコンシャスバイアス等に関するセミナーを開催する。

・岩手労働局、久慈職業安定所、久慈商工会議所等の関係機関と定期的な情報共有を図るほか、庁内においては、企画、子育て、移住・定住、商工担当を中心とした、横断的体制を構築し、取り組みを推進している。

スケジュール

- | | |
|---------|--|
| 令和7年12月 | 人材確保セミナー（久慈職業安定所主催）
※認定制度、アンコンシャスバイアス、若者雇用対策等 |
| 8年2月 | 企業懇談会の開催（久慈商工会議所主催）
※東北経産局・岩手労働局・県の各種助成や施策紹介等 |
| | 市内事業者向けアンケートの実施 |
| | 男女共同参画推進の講座実施（久慈市主催）
※アンコンシャスバイアス、男女共同参画等 |
| 令和8年度～ | 分析結果を勘案した各種施策の実施 |